

中期計画

〈令和7～9年度〉



JAながの公式キャラクター
じゃえ～なだまる

JAながの

中期計画（令和7～9年度）策定にあたって

当JAは平成28年9月の合併以降、「JAながの長期ビジョン」の実現に向け、3年毎に中期計画を策定し、この間一貫して、農業所得増大と農業協同組合の機能発揮に取り組んで参りました。農業を取り巻く環境は、少子高齢化や核家族化の進行による、就農人口の減少に伴う農業生産基盤の縮小に加え、資材価格高騰・地球温暖化・自然災害の激甚化など、より厳しさを増しています。

令和6年5月には、「食料・農業・農村基本法」が改正され、世界的な食料需要の増加や国際情勢の不安定化から、「平時からの食料安全保障の取り組み」や「持続的な供給に要する合理的な費用」の明確化などが定められたところですが、よりよい農業・JA環境づくりに向け、生産現場の声を、どのように反映していくかが今後の課題となっています。

また、農業の最前線では、AIやロボットによるスマート農業等、最先端テクノロジーの活用が広がる一方で、当JAにおいても事業・サービスのデジタル化（取引の非対面化）を進め、組合員の利便性と利用拡大を目指して取り組んで参りましたが、今後更に協同の力とイノベーションを通じ、組合員のくらしと、持続可能な地域農業の未来をリードしていく姿勢が求められています。

こうした情勢・環境変化に対応し、組合員とともに地域に根差した事業を展開していくことを目的に、「彩り豊かな農・食・くらしを守ります」をテーマに掲げ、中期計画（令和7～9年度）を策定いたしました。「農業振興」「組織力強化」「経営基盤強化」の3つを柱に、農業・地域から評価され、選ばれ、必要とされるJAであり続けるため、持続可能な収益構造の構築を目指してまいります。

JAながのが取組む3つの柱

農業振興

組織力強化

経営基盤強化

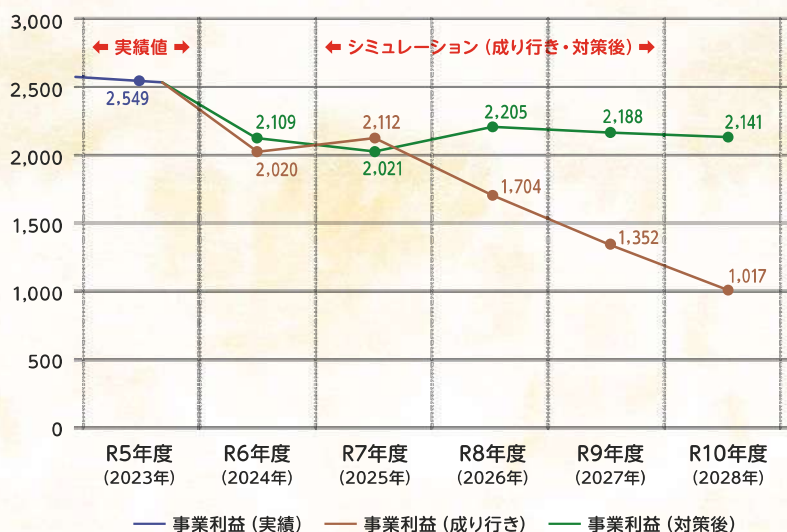
事業利益シミュレーション

過去の傾向等に基づき将来の見通しを予測したシミュレーション（成り行き）では、事業利益が減少していく見通しとなり、全ての事業において事業総利益の維持・拡大が必要となっております。

中期計画を策定するにあたり、農業所得向上と健全で持続性のある経営を確保する観点から、各事業で策定した改善方策を上乗せした「経営基盤強化に向けたシミュレーション」（対策後）を作成し、事業ごと中期計画に反映した取組方策を実行いたします。

中長期収支シミュレーション（事業利益）

【単位：百万円】



これまでの歩み



 JAながのが目指す姿（長期ビジョン）

多様なつながりによる絆の強化と、
農業を基軸とした活力ある
地域社会の実現を目指します。



関西大学とJAながの共同開発
「豊茸」の栽培・販売開始(令和5年)



りんごの凍霜害(令和3年)



クインルージュ 初出荷(令和2年)

令和4～6年度

〈中期計画テーマ〉

**組合員とともに、
地域とともに**

農業振興と地域の豊かさを
創造するため、
私たちは常に前へ進んでまいります
～We will go forward always～

令和元年～3年度

〈中期計画テーマ〉

**3+1
(サンプラスワン)**

営農指導の強化・販売事業の強化・
生産資材価格の低減・
安心して暮らせる
地域社会の実現



台風19号災害復旧対応(令和元年)

平成28年9月～30年度

〈合併事業計画〉

**営農指導の強化、
販売事業の強化、
生産資材価格の低減と
安心して暮らせる
地域社会づくり**



JAながの農産物公式オンラインショップ
「た〜んとながの」オープン(令和2年)



機能性食品として「ながまるアップル
(シナノゴールド)」登録(令和5年)

台風19号災害復旧対応(令和元年)

「信州農業再生復興ボランティアプロジェクト」を立ち上げ、総勢8,000人を超えるボランティアと500人のJA職員により活動

中期計画テーマ（令和7～9年度）

彩り豊か

第1の柱

産地振興の強化と農産物価値の向上

R9到達目標（KPI：重要業績評価目標）

- ①重点品目（米）の普及による売上増加／にじのきらめき250ha
- ②生産者ニーズに合わせた出荷規格による売上増加／ピーマンのバラ出荷500t
- ③流通コスト低減による農業者所得の向上／市場外流通比率22%
- ④予約購買促進によるコスト低減／肥料・農薬の予約率60%



1 重点振興作物の普及拡大と営農指導体制の強化

2 農業所得向上に向けた販売の強化

- (1)収入アップに向けた販売力強化
- (2)JA結集による取引拡大
- (3)国消国産運動の展開による消費拡大の取組み



3 農業所得向上に向けたコストの低減対策

- (1)出荷コスト低減に向けた取組み
- (2)低コスト農業・省力栽培技術の推進

4 営農継続に向けた支援体制の確立

5 農政課題への取組み



「りんごショコラ～信州のかがやき～」
2024年JA全国お取り寄せ
ジュース・スイーツ選手権 スイーツ部門第1位



ナガノきのこ大祭2024
旬のアスパラときのこを袋詰めした
「満足パック」を数量限定で提供



低コストオリジナル肥料
「ながの水稲一発Si15kg」

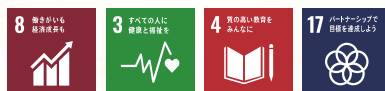
な農・食・くらしを守ります。～各事業が中

第2の柱

魅力ある事業を通じた仲間づくり

R9到達目標 (KPI: 重要業績評価目標)

- ①食農教育活動実践による
地域農業の理解促進 (参加人数) / 2,000人



りんごの収穫体験

1 人とデジタルを融合した総合事業の確立

- (1)利便性の維持・向上に向けたデジタル化の普及拡大
(2)「農業」「地域」「くらし」に寄り添った事業の展開

2 多様なチャネルを使った広報展開



3 理念・価値観を共有する輪の拡大

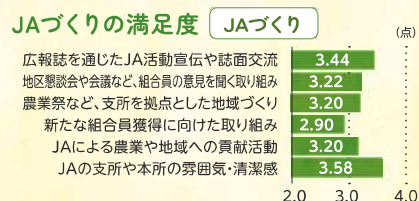
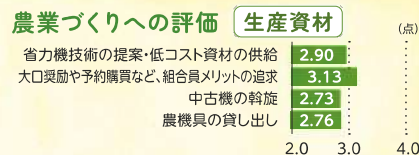
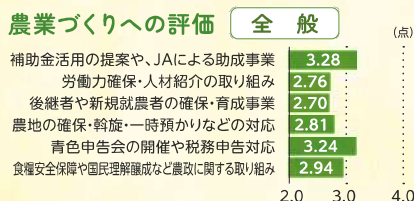
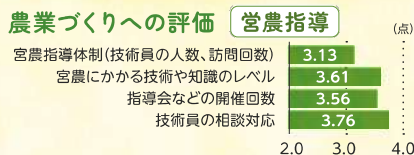
- (1)農業・JA事業への理解醸成
(2)次世代組合員の確保と事業への参画拡大



組合員 アンケート結果 (令和6年6月実施)

中期計画の策定にあたり、
組合員アンケートを実施しました。
(回答者数: 2,089人)

JAながのは平成28年9月の合併以降
に3回の組合員アンケートを実施いたし
ましたが、評価が低かった項目(今後も
注力が必要な項目)について改善する
べく中期計画に反映しております。



中期計画に基づき、未来に向けた取り組みを推進します～

第3の柱

健全で持続性のある経営基盤の確立

R9 到達目標 (KPI: 重要業績評価目標)

- ① 組合員・総代との対話・意思反映 (出席人数)
／組合員懇談会: 1,300人 総代懇談会: 1,000人
- ② 准組合員世帯を対象とした農業体験懇談会 (通算開催数) / 15回



1 対話と意思反映による各組織の活性化

- (1) 組合員組織間の深化対策とJA事業への意思反映

2 多様性を活かして働く組織への進化

- (1) 多様化する働き方への対応・進化

3 持続経営を支えるガバナンス・リスク管理の強化

- (1) 事業戦略との一体的運営に向けたALM・経営管理の高度化
- (2) 経営分析に基づく経営改善
- (3) 効果的かつ効率的な監査の実現
- (4) 経営健全性の維持と不祥事を発生させない組織づくり



組合員懇談会



就職説明会

主要施策・重点取り組み事項の詳細についてはこちらをご覧ください▶



JAながの自己改革工程表

令和4年度からの中期計画では、自己改革の実践に向けた重要業績評価目標（KPI）に取り組み、多くの正組合員の皆様から一定の評価と自己改革への期待や要望、また准組合員の皆様からも農業への関心や総合事業への期待の声をいただくことができました。

新たな中期計画の実践にあたっては、引き続き組合員の農業所得増大に向けた取り組みと各事業推進、組合員との対話・意思反映の取り組みを進めると共に、新たな重要業績評価目標（KPI）を設定し、農業を基軸に地域に根差したJAを目指し、不断の自己改革による更なる進化に取り組んでまいります。

農業者の所得増大・農業生産の拡大

〈重点目標1〉重点品目の普及による売上増加（大品目より1品種抜粋：にじのきらめきの推進拡大）

対象者	重点振興品目生産者	想定	売上増加効果	にじのきらめき推進拡大〈成果指標・目標値〉		
令和9年度	にじのきらめき250ha	栽培面積		令和7年度	令和8年度	令和9年度
				151.9ha	230ha	250ha

〈重点目標2〉生産者ニーズに合わせた出荷規格による売上増加

対象者	重点振興品目生産者	想定	売上増加効果	ピーマンバラ出荷〈成果指標・目標値〉		
令和9年度	ピーマンバラ出荷500t	出荷数量		令和7年度	令和8年度	令和9年度
				450t	470t	500t

〈重点目標3〉流通コスト低減による農業者所得の向上

対象者	出荷組合員全て	想定	コスト低減効果	市場外流通比率〈成果指標・目標値〉		
令和9年度	市場外流通比率22%	コスト6%低減 (市場コスト－市場外コスト)		令和7年度	令和8年度	令和9年度
				20%	21%	22%

〈重点目標4〉予約購買促進によるコスト低減

対象者	出荷組合員全て	想定	コスト低減効果	肥料農薬予約割合		
令和9年度	肥料農薬予約割合60%	当用価格対比 －5%		令和7年度	令和8年度	令和9年度
				53%	55%	60%

地域の活性化

〈重点目標〉食農教育活動実践による 地域農業の理解促進

令和9年度	参加人数 2,000人	食農教育活動参加人数〈成果指標・目標値〉		
		令和7年度	令和8年度	令和9年度
		1,000人	1,500人	2,000人

対話・意思反映

項目	令和6年度 計画	令和6年度 実績	令和7年度 計画
組合員懇談会（出席人数）	1,500人	1,011人	1,300人
総代懇談会（年2回延べ出席人数）	1,100人	985人	1,000人
准組合員世帯を対象とした農業体験懇談会の開催	100人	149世帯（500人）	年5回

経営理念

JAながのは**3つのC**を大切にし、**3つのC**に果敢に取り組めます。



CHALLENGE

挑戦

新たな取り組みに
挑戦します。

CUSTOMER

組合員

お客様の気持ちになって
仕事に取り組めます。

CONNECTION

繋がり

組合員・地域との繋がり
強化に取り組めます。

 **ながの農業協同組合**

〒380-0936 長野県長野市大字中御所字岡田131番地14

TEL 026-224-0550 FAX 026-224-2212

URL www.ja-nagano.ijjan.or.jp/